

岡山県で横断歩道一時停止啓発キャンペーンを実施

～岡山県警察、岡山県、自動車関連団体等が横断歩道での歩行者優先を呼び掛ける～

日本損害保険協会中国支部(委員長:谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社広島支店長)は、岡山県警察や関連団体と連携して、横断歩道一時停止啓発キャンペーンを展開し、啓発ポスター・チラシを作成、11月29日(火)に、岡山県警察本部において、贈呈式が行われました。

昨年、岡山県における「信号機のない横断歩道での一時停止率」は10.3%と、全国ワースト1位になりました(2021年JAF調べ)。このような状況を改善し、不幸な事故を1件でも少なくするために、関係団体と連携して、ドライバーに横断歩道での一時停止を呼び掛けるキャンペーンを官民一体となって実施しました。

すると本年の調査で、岡山県は49.0%(2022年JAF調べ)となり、全国ワーストワンを脱却して、大幅に改善しました。しかし、大幅に改善したとはいえ、まだ半分の車が一時停止していない現実があります。そこで、さらに改善を目指すため、本年も、キャンペーンを継続して実施することとなりました。

キャンペーンには、岡山県警察をはじめ、岡山県、岡山市、岡山県交通安全協会、岡山県損害保険代理業協会、日本自動車販売協会連合会岡山県支部、岡山県自動車整備振興会、岡山県自動車整備商工組合、JAF岡山支部、岡山県レンタカー協会、岡山県中古自動車販売協会(JU岡山)および当協会中国支部の計12団体が参加しています。キャンペーンで啓発ポスター・チラシを作成して、そのうちの啓発ポスター210枚・チラシ8,000枚に加え、当協会作成の反射材3,900個を岡山県警察に贈呈しました。

贈呈式では、当支部岡山損保会 宮原 秀樹 会長(損害保険ジャパン株式会社執行役員待遇岡山支店長)から、「本年は新たに岡山市を加え、12団体が参加して、官民が一体となった啓発を継続することとなりました。ポスターを警察署や交番に貼っていただくほか、チラシもたくさんの方々に配布いただけることを願っています。夕暮れと夜間の交通事故から、歩行者の身を守るためには、反射材が効果的です。交通事故防止にお役にいただけることを願っています。」と挨拶があり、岡山県警察本部交通部 井上 卓彦 交通企画課長に啓発ポスター・チラシおよび反射材を手渡しました。次いで、井上 卓彦 交通企画課長から、「昨年、みなさまからお力添えをいただき、本年、大幅な改善が実現しました。ただ、いまだに半分の車は停車していません。実体的にも道路を横断中に亡くなるという悲惨な事故も少なくありません。贈呈いただいたポスター、チラシ、反射材の啓発物品を活用して、さらに交通事故の減少を目指していきたいと思っております。」と挨拶がありました。

当協会では、交通事故防止の取組みを推進し、引き続き、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。



挨拶する岡山損保会・宮原会長



宮原会長から啓発ポスター贈呈(右:井上交通企画課長)



宮原会長からチラシ・反射材の贈呈（右：井上交通企画課長）



啓発チラシ